



城東学園 家庭学習 7か条



【設定の理由】

- 幼・保・小・中の子どもたちの育ちを、一人一人の将来を考え、園・学校と家庭とで協調し合って支えていきます。
- 繰り返し積み重ねていくことは、学習はもちろん生活の基盤となり自立の基礎となります。
- 報徳の教えを受け継ぎ、地域の未来を担う子どもたち一人一人に、確かな力を付けていきます。

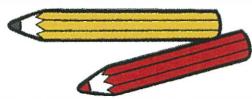


【家庭学習7か条】

- 第1条 時間を決めて取り組みます。「**継続は力なり**」
- 第2条 学習に集中できる環境の中で取り組みます。「**環境が人をつくる**」
- 第3条 計算や漢字は、覚えたかどうか確かめ、分からないところは翌日先生に質問します。「**鉄は熱いうちに打て**」
- 第4条 「宿題」は家族にも見てもらいます。「**目をかけ、声をかけ、心をかけて**」
- 第5条 「宿題」の他にも自分で決めて、取り組みます。「**意欲に勝る力なし**」
- 第6条 自分で立てた目標に向かって読書を読みます。「**本は心の栄養です**」
- 第7条 家族の一員として自分に合ったお手伝いをします。「**働くことから学びます**」



※第2条から第6条は、小・中学生を対象とした言葉になっています。就学前のお子さんは下の「成長段階ごとの具体的な内容」の「就学前」の内容を見て、できることから取り組みましょう。



【成長段階ごとの具体的な内容】



就学前	小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身に付けましょう。 <ul style="list-style-type: none"> あいさつ、片付け、食事、衣服の着脱など子どもが出来るように家庭で褒め、励まし、つけていきます。 早寝早起の習慣が身に付くようにします。 ●社会性を身に付けましょう。 <ul style="list-style-type: none"> よいこと、悪いこと等社会のルールを一つ一つ教えます。 我慢する気持ちを育てます。 子どもが自分で頑張ろうとしている時、できるようになった時は、具体的に褒めます。 ●親子で一緒に遊びましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 「遊びは学び」子どもの興味関心をたくさん引き出します。 戸外で元気に遊び、実体験を大切にします。 ●子どもとゆったりとかかわりましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 一日の出来事（嬉しかったこと、困ったことなど）を親子で話します。 子どもの話は顔を見て最後まで聞きます。 スキンシップをしたり、一緒に遊んだりして親子の触れ合いに心掛けます。 ●絵本の読み聞かせをしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> できるだけ一日一冊は絵本の読み聞かせをするようにします。 親子で図書館に行って、絵本に触れる機会を持つようにします。 ●おさんが出来るお手伝いをさせましょう。 <ul style="list-style-type: none"> お手伝いの大切さを話し合います。 お手伝いが出来るように声を掛けたり、手助けしたりします。 お手伝いができたときは認め言葉を掛けます。 	<p>時間を決めて取り組みます。</p> <p>第1条</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の目安（学年×10分+10分） ・宿題を始める時刻を決めて取り組むようにします。 ・高学年からは、学校で出される「宿題」と予習や自主的な学習をするようにします。 	<p>時間を決めて取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の目安（学年+1時間以上） ・学校で出される「宿題」と予習や自主的な学習をするようにします。
	<p>第2条</p> <p>学習に集中できる環境の中で取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始める前に机の上を片付け、宿題の準備をするようにします。 ・できるだけ居間など家族が居る場所で、テレビや音楽を消して取り組むようにします。 	<p>学習に集中できる環境の中で取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の部屋で学習する場合は、テレビや漫画、ゲームなどを片付けるようにします。
	<p>第3条</p> <p>計算や漢字は、覚えたかどうかを確かめ、分からない所は翌日先生に質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年ではできるだけ大人がその場で丸を付けてあげます。間違っていたらその場で直し、合っていたら褒めてあげます。 ・高学年では、子どもが自分で丸付けができるようにしていきます。 ※学習が終わったら、翌日の準備をします。 	<p>計算や漢字は、覚えたかどうかを確かめ、分からない所は翌日先生に質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の様子をときどき尋ねます。 ・テストに向けて計画を立てて学習するようにします。 ・力が付いたか定期的に確認するようにします。
	<p>第4条</p> <p>「宿題」は家族に見てもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、大人と一緒にいて目を掛け、声を掛けます。褒めるときはスキンシップで。 ・高学年では、手を離し、声を掛けます。他人（兄弟姉妹も）と比べず、その子のことを考えて褒めます。 ※「褒める」ことは、自分がしたことでも周りの人が喜んでくれる経験となります。 	<p>「宿題」は家族に見てもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に向かう姿勢に声を掛け、励ましていきます。
	<p>第5条</p> <p>「宿題」の他にも自分で決めて学習に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験が子どもを大きくします。読書や音楽、絵画などの芸術作品や豊かな自然に直接触れること、体をきたえることが心を耕すことにつながります。 	<p>「宿題」の他にも自分で決めて学習に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し先の自分の姿をイメージし、そこに向かって努力していく気持ちが大切です。
	<p>第6条</p> <p>自分で立てた目標に向かって読書を読みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や図鑑から日本だけでなく世界の物語や伝記などに興味広がっていきます。シリーズ物や同じ作者の本を読むのもお勧めです。 ※本…絵や写真、漫画などが多いものから少しずつ文章が多いものへと読み進むと良いと言われています。 	<p>自分で立てた目標に向かって読書を読みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説やエッセイなどにも範囲が広がっていきます。
	<p>第7条</p> <p>家族の一人として自分に合ったお手伝いをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の中で役割や仕事を決めて取り組むようにします。休日や長期の休みならではのお手伝いも子どもと一緒に考え、その取組を手助けしていきます。 	<p>家族の一人として自分に合ったお手伝いをします。</p>

※この用紙は、御家庭の見やすいところに掲示をしてください。